

▼ 編集後記 ▼

18生

- > 飛翔で多くのことを学びました。協力してくれた飛翔のメンバー、事務員の皆さん、取材を受けてくださった皆さん、読者の皆さん、本当にありがとうございます。これから飛翔がハラハラ・ドキドキの探険、挑戦を通して、より飛翔できることを願っています。(荒川洸一)
- > 飛翔に関わって二年ちょっと、様々な役割を経験しました。組織とは何か、仲間とは何か、考え続けた日々でした。人から孤高の人などとかかわれるわたしにとって、とても貴重なことでした。(五十嵐太郎)
- > 研究室紹介担当でした。しっかりした後輩たちに囲まれ、飛翔の未来は明るいと安心しました。(小野未千恵)
- > 今回の飛翔では色々と冒険させていただきました。とにかく、飛翔を読みやすく、どれだけ多くの人に読んでもらえるかを自分なりに考え言葉やレイアウト等をつくりました。他の編集員の方々、無理を受け入れてくださりありがとうございました！そしてこんなに自由に自分の書きたい記事を書かせていただけたのは飛翔のおかげです。全てに感謝。(中野陽介)

19生

- > 表紙・裏表紙ともにレベルが上がったと自負しております川村です。頑張りました。今回は寺澤君との共同製作です。誰かと一緒に一つの物を作る良さを知りました。(川村真弓)
- > 今回は探険隊を担当させていただきました。頼りない隊長でしたが、他の探険隊隊員や飛翔メンバーの協力でいい記事になっていると思います。一年生がとても頼もしかった！ありがとうございました。(久保奈津美)
- > 「もっと多くの人に読んでもらえる冊子にしよう」と工夫を重ねる先輩、一年生をリードする立場になった同級生、積極的に企画・取材に参加する後輩に囲まれての編集作業でした。編集室での会議が、確実に“熱く”なっていると思います！(桑田雅美)
- > 今号は、「研究室紹介」を世良君、野村君、山谷君、吉田君と、表紙作りを川村さんと担当しました。今号も、取材を通して、編集作業を通して、沢山のことを得ることができ、充実した活動となりました。最終グラのチェックなどを手伝うことが出来ず、中村編集長をはじめ、編集員の皆さんには本当にご迷惑をおかけしました。これまでお世話になった全ての人に感謝します。ありがとう！(寺澤潤哉)
- > 今号では編集長を勤めさせていただきました。編集長は、床屋で散髪してもらっている立場によく似ている気がします。みんなの頑張りが、一人ぼっちでは絶対にできないものを作り上げてくれました。これってすごいことだと思います。ありがとう。(中村洋平)

20生

- > 今回、飛翔に参加して初めて「記事を書く」という経験が出来ました。書きたいことを実際に文にするという作業は、予想以上に大変なもので試行錯誤する日々でしたが、とても勉強になりました。私は将来、新聞記者になりたいと思っています。これからも自分の夢の実現に向けて頑張っていこうと思います。(小野智子)
- > 私は初めて飛翔の制作に参加させていただきました。私はOB紹介担当で、取材や文章制作などをやりました。初めてということで、あたふたしてしまうこともありましたが、先輩のサポートにより無事にやり遂げることができました。この広報誌が総科はもちろん、他学部生に広く読まれることを祈ってます。(竹之内孝太)

- > 飛翔な日々を書いたのは実は締め切り最終日です。別の余計なこと（遊びとか遊びとか…）に時間を使いすぎて、ギリギリにならないと頑張れない自分を実感しました。今回のテーマがエコだからというわけではないですけど、時間をちゃんと節約して余裕をもって行動しなければ……と思うのでした。（平野俊樹）
- > ホントにホントにホントにドタバタした取材でした。心優しく取材に応じてくれた先輩、付き合ってくれた竹之内君、ありがとうございました。皆さん、テープレコーダーは再生ではなく、ちゃんと録音を押しましょね。（長野梨江子）
- > 今回、取材から編集を通して、非常にいい経験をする事ができたと思い満足しています。研究室紹介、エコのページ、飛翔探険隊で取材をし、色々な人の話を聞くことにより、自分の世界が少しは広がったかなと思います。それに、記事を書き先輩や、取材先の先生に直してもらった作業は非常に勉強になりました。わかりやすい文章を書くこと。正しい文章を書くこと。単純なこの二つのことがどれだけ難しいかがよくわかった第一回目の飛翔経験でした。とにかく色々な経験をしたい。そう思い飛び込んだ飛翔。次回もまた参加したいと強く思っています。（野村亮）
- > 取材をしたりテープ起こしをしたり初めて経験することばかりで苦戦しましたがいい経験になりました。引っ張って下さった先輩方に感謝です。（山崎弦太）
- > 高校生の頃から読み慣れていた「飛翔」。念願叶って総合科学部に入学できたことだし、今度は作る側になってみようと思い、編集委員をさせていただきました。編集をする上でのたくさんの人との関わりを通じて、大学生としての基礎が固まったような気がします。これからもよろしくをお願いします。（山谷義貴）
- > 研究室紹介の記事と表紙、裏グラビアを担当しました。先生への取材では面白く興味深い話をしていただきました。けれど、それを文字にして伝えるのは難しくて自分の力不足を実感しました。それでも少しでも多くの人に読んでもらえればうれしいです。（吉田聡）

教員・事務の方々

- > 総科に来て一年半近くになりますが、何も知らずに西条に来た自分にとって、総科とは何かを考える際に、いつも飛翔の記事は大変参考になります。学生諸君が自ら企画立案し、それが目に見える形で結実していくというのは、実に素晴らしいことだと常々思っています。今回も大変充実した企画で、編集委員の皆さんのご苦勞が偲ばれます。皆さん、お疲れ様でした。（石田敦彦先生）
- > ゲラのチェックをしていると、編集スタッフの熱気が伝わってきました。雑誌にしても論文にしても、作り手が如何に熱くなっているかが、とても大事です。その点、今号は大成功ですね。皆さん、お疲れ様でした。かなり気が早いですが（笑）、次号が楽しみです。（佐々木宏先生）
- > 昨年に引き続いて今号でもお手伝いできたことをうれしく思います。身近にできるエコをわたしも実践していきたいと思います。次号でもすばらしい飛翔の完成を期待しています。（岩佐浩子さん）
- > 原稿のチェックをするはずが、思わず記事に入り込んでしまう程どれもおもしろい内容でした。印象的だったのは、試験期間中の忙しい中、わずかな時間を見つけて飛翔編集室に向かう皆さんの姿です。お疲れさまでした。（宮内祐輔さん）



編集員求む！

私たちと一緒に「飛翔」の編集作業をしてみませんか？取材の仕方から編集作業まで挑戦できることはたくさんあります。もし興味をもたれたら、下記のメールまたは編集室まで。

また「飛翔」をよりよくするためのご意見・ご感想もお待ちしています。

広島大学総合科学研究科：〒739-8521

東広島市鏡山一丁目七番一号

URL:<http://home.hiroshima-u.ac.jp/ias/souka/index.htm>

飛翔メールアドレス: hisyo1@hiroshima-u.ac.jp





今号のテーマは
「環境」だよ!!

特集

・ 飛翔探険隊

・ sin you me town s

・ エコのページ

・ 研究室紹介

・ O B ・ O G 紹介

広島大学 総合科学部学部報

飛翔

第74号

2008年10月発行

広島大学大学院
総合科学研究科・総合科学部
広報・出版委員会
飛翔編集委員会